

就任のご挨拶

院長 山下 秀一



2024年1月1日をもって医療法人統和会平和台病院の第6代目の院長に就任しました山下秀一です。当院は1964年の開院以来、長年にわたって糖尿病を中心とした地域医療に努力してまいりました。当院の歴史を守り発展することで、宮崎県の医療にさらに貢献する覚悟を持って院長職を務めるつもりです。平和台病院は皆様もご存知の通り、糖尿病診療の最高峰の医療機関であることを目標に発展してまいりました。現在では慢性血液透析の設備も整え、糖尿病の初期から、残念ながら腎不全にまで至った時期まで、人生を通して医療を提供できる体制を備えています。

私は救急医療にも対応できる総合内科医を理想の医師像と考え、1984年に宮崎医科大学を卒業後、最初に宮崎医科大学の第3内科に入局し、脳神経内科の専門医となりました。続いて久留米大学高度救命救急センターICUで外傷を含む救急重症管理に従事しました。その後社会保険病院小倉記念病院地域総合診療部に勤務した後宮崎に戻る機会を得て、宮崎市郡医師会病院で内科系救急の診療と、学生や若手医師への教育に従事しました。1999年には開業医として、堀川町山下内科呼吸器科医院の開設にも携わりました。卒後20年を過ぎて宮崎大学内科学講座神経呼吸内分泌分野に講師として招聘されました。

平成24年1月には佐賀大学医学部附属病院総合診療部教授に就任しました。内科系総合医（総合内科専門医・指導医、神経内科専門医・指導医、呼吸器内科専門医、救急科専門医、プライマリ・ケア認定医・指導医、病院総合診療認定医・指導医）として一般内科の診断困難例や重症例、複雑な病態を持つ症例などの診療並びに、学生や若手医師の教育と研究指導に従事しました。

佐賀大学病院では病院経営に携わり、教授就任後1年で病院長特別補佐、その1年後には卒後臨床研修・附属病院再整備担当の副病院長に就任しました。さらに、教授就任5年目には佐賀大学医学部附属病医院の病院長に就任し、6年間務めました。その間、附属病院の収益が全国国立大学で第一位を記録し、優れた医療を提供できる最新の病院に整備することが可能な経営状況を整えることができました。最大の危機は令和2年からの新型コロナウイルス感染症のパンデミックでした。コロナ感染症の初期より院内に対策本部をいち早く立ち上げ、病院内に感染者が無防備に立ち入ることを防ぐ努力を行いました。病院職員の一丸となった努力のおかげで、病院内にコロナ感染症が蔓延することはなく、医療機能を停止する事態に陥ることはありませんでした。

このような経験を十二分に生かして、当院を受診される患者さん皆さんに最善の医療を提供できる様に、宮崎の地に重要な役割を果たしてきた平和台病院を職員全員の一致団結のもとに、さらに大きく育てて行きたいと願っています。今後の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

第1回 平和台病院 健康秋まつり

令和5年10月14日、平和台病院東館において、健康秋まつりを開催しました。初めての開催でしたが、地域の皆様や保健師の方々のご協力と、スタッフ全員の協働で、参加者からは「楽しかった」「来年も来ます」と言ってもらえました。ご来場誠にありがとうございました。



市民公開講座

1. 検診に行こう！
2. 糖尿病はじめの一步
3. 糖尿病とお口の健康
の3演題でした



分かりやすかった。
15分の講座が短く感じた



町の保健師さんコーナー

足の指に力が入ること
が大事だと再確認
できた



フレイル予防相談

現状を確認できた
食事運動に気を付
けようと思った



運動実践体験



無料相談会・測定会



血糖値を知る機会はありませんでしたので良かったです



血圧がいつもより高かったが、相談できて安心した

職員の声

数か月前から準備し、当日は参加者もスタッフも楽しめました。普段血糖値を意識されていない方もこの祭りを機に興味を持てただけならうれしいです。

食事のなんでも相談コーナー



実際に試飲できて
参考になった



みそ汁の作り方など、
これから気を付けよう
と思った



塩分比較体験（一口みそ汁体験）

患者家族会 平和台病院はまゆう会



魅力的な作品が作
れるコーナーで、
とてもよかった
お昼ごはん、作りそい



コースター作り



ペーパークラフト作り



家族でも
作りたい

職員の声

参加者の方々と一緒にコースター&ペーパークラフト作りを
しました。満足して帰っていただけたので嬉しく思います。

発行元：医療法人社団 絃和会 平和台病院 広報委員会



〒880-0034 宮崎県宮崎市矢の先町 150-1

TEL: (0985)-24-2605 FAX: (0985)-22-0787

URL: <https://www.heiwadai.or.jp/> 令和6年2月1日発行